

## 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク シンポジウム

来賓挨拶：国土交通省大臣官房技術参事官 山縣 宣彦



ただいまご紹介いただきました国土交通省大臣官房技術参事官、山縣でございます。

まずは、今年も日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会、それからシンポジウムがこのような盛大に開催されましたことを、心から御礼申し上げたいと思います。

私も2年前の輪島のシンポジウムに参加させていただきました。ただ、残念ながら昨年の松江には参加できませんでしたけれども、今年もまたこうやって舞鶴のほうに来させていただいて、本当にうれしく思う次第でございます。

ここまで東日本大震災で非常に多くの犠牲を払う形になってしまいました。また、被災された方々に対しまして心からお見舞い申し上げたいと思いますし、今日現在、被災地等におきまして復興・復旧に努力されている方々がたくさんいらっしゃいます。そういう方々に対しまして敬意を表する次第でございます。

私も港湾局も、震災直後から、まずは人命救助、それからその後の応急復旧ということで組織を挙げてやってまいりました。もう既に5カ月になりますけれども、今現在では各港ごとに復興・復旧のプランというものができたところ

ろでございまして、いよいよ復興・復旧に向けて動き出しました。

我々としても「できるだけ早く復興・復旧させたい」と、そういう思いで、今やっておるところでございます。引き続き皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

また、今回の震災におきまして、例えば港の重要性、例えば東北地方では燃料の問題、あるいは牛等への穀物をどうするのかといった問題、そして電力不足という中で、いわゆる石炭を、発電をどうバックアップするのかと、そういった課題がございまして、そういう中で港湾の重要性、そういったものについては認識されたのかなと思っておりますし、また合わせて、太平洋側の港が被災したときに、こちらの日本海側の港がきちっとバックアップできたと思っております。

先ほど市長のほうからもリダンダンシーという言葉もございましたが、日本海側のルートがしっかりとその役割を果たしたと、その辺の認識といったものも今回生まれたのかなと思っております。今日のこのテーマが「日本海沿岸地域の“きずな”と“にぎわい”が日本を救う」でございますので、ぜひそういった観点からのいろんな議論、有意義な議論を期待しているところでございます。

ところで、私どもの港湾行政、2年ほど前になりますが成長戦略というものをつくりました。それに基づいて幾つかの施策をしております。やっぱり一番の柱はコンテナに関するところでございまして、コンテナ戦略港湾とか、あるいは民の視点で港湾を運営するための施策、そういうことで港湾法を改正するとか、そういう取り組みもしてまいりました。

ただ、それに加えて、私は2つほど従来と違った視点での整理が必要かなと思っております。

1つはバルクに関するところでございます。先ほども飼料とか石炭とか、そういう話をしましたが、今、中国がどんどん経済が大きくなって、それに伴って中国への石炭、穀物等々、そういった船の大型化というものもどんどん進んでございます。そういう大型化に対して、きちっと日本の港湾行政も対応しなければならないということで、バルクの戦略港湾というものを選定させていただいて、どちらかという今までは民間主体でやっていたところがあったんですが、それに対しましても港湾局でしっかりフォローしていこうというのが、1つ今までと違った柱かなと思っております。

もう一つが、先ほど副知事さんからもお話がございましたが、日本海側の拠点港の取り組みでございます。日本海側の港につきましては、対岸貿易も益々これから進展するという見通しもございますし、また、今回の震災でも日本海側のネットワークの重要性といったものも再認識されたところでございます。そういう意味で、今後の港の機能の強化、あるいは役割をさらに整えていく、そういう取り組みとともに、日本海側の港がそれぞれ連携をして、きちんとそういったニーズに対応していく必要があると、そういう議論を今始めようとし

ているところでございます。

ご当地舞鶴港も今回提案をいただいております。これから議論がなされるわけですが、お互いの役割が強化されるとともに連携していくという取り組みが必要だろろうと思っております。そういう意味では、今回のこのネットワークという会は、まさに港同士が連携するということでございますので、大いにそういった活動を我々としても期待しているところでございますし、また港湾局としても、そういう取り組みについては全力で応援していきたいと思っております。

最後になりますけれども、きょうはこの会を通じまして、有意義な活動がなされ、そしてそれぞれの日本海側の港が活性化し、ひいては更に発展に結びつくことを祈念申し上げまして、簡単ではございますけれども私の発言とさせていただきます。

本日はどうもおめでとうございます。